

業務4件でCIM試行

整備局 希望工事2件も対象

中部地方整備局は、2013年度にCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）を調査・設計業務4件で試行する。このほか、施工者からの提案でCIMを活用する希望工事については、一般土木2件で試行対象とする方針だ。

同局は、①情報の有効活用②設計の最適化③施工の効率化・高度化④維持管理の効率化・高度化——を旨とし、CIMの導入検討を進めている。12年度は、名四国道事務所の155号豊田南バイパスの詳細設計業務（委託者・オリエンタルコンサルタンツ）をモデル事業として、CIMを取り入れている。

13年度は、工事での試行着手に向け、試行業務を深化させ、より上流へ拡大するため▽概略設計▽予備設計▽測量▽地質調査——の4業務を対象にCIMの活用を検討。これまで概略・予備設計1件、詳細設計1件、地質調査2件の計4件の業務で活用する方針を固めている。

これまでのところ同局では、モデル事業（指定工事）によるCIM試行対象工事の発注はないが、モデル事業以外の工事（希望工事）で活用する試行工事として、トンネルと道路建設の各1件でそれぞれ導入を検討する。

希望工事では、CIMの活用状況に応じた成績評価の加算といったインセンティブの付与方法などを検証することを目指している。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 | | |

平成25年12月12日（朝）・夕 P 8-1